

正倉院宝庫と校木の組み方 [84]

正倉院

聖武天皇と光明皇后の遺品を収めた東大寺の宝庫で現在は宮内庁の所屬。校倉造りという換気のよい構造と、保管が厳重だったから、八世紀の品約五千点が保存されている。唐・西域・ペルシャ伝来の品もある。

背円鏡 [85]



二月堂といえば「お水取り」(3月1~3月14日)、1200年間も続く神秘的な夜中の行事である。浄瑠璃で名高い良弁杉の下にその水を汲む若狭井(關伽井屋)がある。水取りやこもりの僧のくつの音。芭蕉 なお、二月堂・三月堂・戒壇院などはいずれも東大寺の一部。

二月堂

二月堂(左に關伽井屋と良弁杉) [83]



月光 [78]

本堂と礼堂の軒のつなぎ目 [82]



月光

本尊不空絹索観音 [79]

日光 [80]

日光

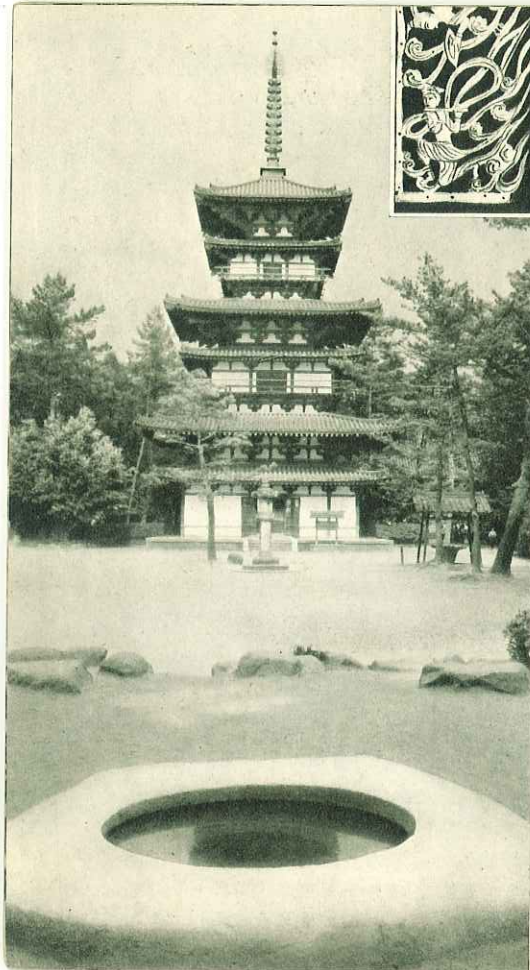


三月堂

三月堂は東大寺最古の建物である。天平時代の本堂に鎌倉時代の礼堂が調和よくつけたされている。堂内は日光・月光など天平彫刻の代表作がずらりとならんで壯観である。

三月堂(左・本堂、右・礼堂) [81]





水煙の奏楽童児(透彫り) [95]

東塔(手前)西塔の心礎 [94]



上 薬師三尊(左より日光、本尊、月光) [91]

薬師寺

東塔だけが当時の建築、三重塔のリズミカルな姿と相輪上の水煙は「凍れる音楽」と讃えられた。仏像も傑作ぞろいだが、吉祥天女図・仏足石と歌碑・西塔礎石跡など見るべきものが多い。

聖観音(東院堂) [93]



吉祥天画像 [92]



千手観音 [90]

唐招提寺

五度の難破や失明にも屈せず来日した唐僧鑑真が開いた寺という。開山堂にある鑑真像は日本最古の肖像彫刻である。天平時代の金堂で現存するのはここだけ。その柱はギリシャのパルテノンを思わせるほど美しく、すでにエンタシス(削張り)は見られない。講堂は平城宮の朝集殿を移したものである。



講堂 [89] 下

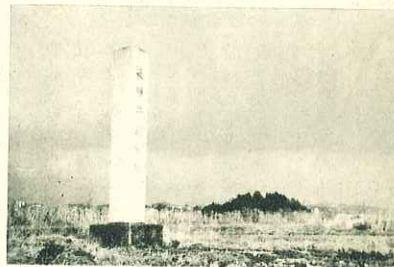
唐招提寺金堂 [88] 上



西の京

784年、都が移るとその右京にあたる西の京は次第に田畑と化した。立ち変わり古き京となりぬれば道の芝草長く生ひにけり。万葉集 奈良盆地に見られる条理制は大化改新に伴う土地区画の名残りで、集落も南面した塙造りの家が目立つ。また平城宮跡の北には前方後円墳が分布する。

平城宮跡 [86]



奈良盆地の条理跡と独特の集落 [87]

